

### くらしの活動を強化

#### ● 地産地消レシピ集作成

「JAは「地産地消レシピ集」を作りました。レシピ集は、くらしの活動で発案・活用したものを紹介しており「地産地消メニュー」「食農教育」「花の巻」の3分野で構成しています。

掲載レシピは全てJA女性部や食育リーダーらが考案したアイデア料理。「JA健康寿命100歳弁当コンテスト」の応募作品や「郷土料理にひと工夫凝らしたオリジナルレシピ」「食育事業で子どもたちと共に作っている献立」や「切り口から様々な柄が浮かび上がる太巻き寿司」などを紹介。A5サイズでオールカラーの20ページにわたる21品が掲載されています。

作成した担当者は「豊かな地域社会の実現に向けて集落事業や食農教育活動、家庭などで幅広く活用してほしい」と話し、くらしの活動の更なる広がりを目指しています。



レシピ集を参考に今後の活動展開を話し合うJA職員

### 強固な産地づくりに向けて

#### ● 二子さといも作柄調査

JA北上地域野菜部会さといも専門部は8月20日、北上市の5つの地区で作柄調査を実施しました。

同日は同部員やJA、普及センターなど13人が参加。各ほ場から、1株ずつ掘り出し、芋の付き方や大きさ、全長や葉の付き方などを栽培環境と共に確認しました。

測定数値はデータベース化し、「二子さといも」の産地として更なる発展と生産技術の底上げを図り強固な体制を作る為、様々な気候変化に対応できる栽培技術と統一した品質管理方法を確立させていきます。

二子さといもは全国でもめずらしい赤茎(あかから)で、強い粘り気ともちもちとした滑らかな食感が特徴。同市二子地区をはじめ周辺地区は、古い歴史を持つ産地を守り続けており、全国的に高い評価を受けています。



収穫を前に二子さといもを掘り出す瀬川栄一専任部長

### 豊潤な香りが今年も ● 遠野ホップ農協収穫作業開始

遠野市のホップ農協は8月19日から今年度のホップ収穫を始めました。同時に同市上郷町のJAホップ加工処理センターも稼働を開始しました。

同組合の栽培面積は34ha。園地ではカーテンの様に広がる5m以上にも伸びたホップを収穫する生産者の姿が見られます。今年のホップは例年になく香りが高く、満載にしたトラックが次々と訪れる同処理センター周辺は特有の豊潤な香りに包まれています。

同組合では長年キリンビール株式会社と契約し、同社の遠野産ホップを使用した「一番搾りとれたてホップ生ビール」の主原料「キリン2号」と「かいこがね」が栽培されています。



収穫したホップをツルごと施設に取り込む作業を行う同組合員ら

### 地域の産物を振興 ● 大迫産業まつり実行委員会

JAや生産者、花巻市大迫総合支所などで構成される、大迫産業まつり実行委員会は、地域で栽培される様々な品目を対象に審判会を開催しています。

審判会は、10月に行われる大迫産業まつりの一環。栽培技術と品質の向上を目的に毎年開催されており、各品目毎の最優秀賞に選ばれた生産者は同まつり内で表彰されます。地域住民に地元の産物を広め、消費拡大へつなげる為、生産者・JA・行政が一丸となり取り組んでいます。

8月7日には、「キュウリ品評会・ナス立毛共励会」を大迫町内で開催。キュウリ10品、ナス16品が出品され、市場関係者やJA、県や市などの15名が審査にあたり、形状や揃いなどの外観審査のほか、ナス立毛共励会では生産者のほ場を巡回審査しました。

ナスの審査にあたった、横浜市中央卸売市場本場の清水健司さんは「夏期は、水やり不足でテカリが無くなる事が多いが、出品物は色が濃く付いており、形も揃いが良く、行き



見るも鮮やかな立派なナスが出品されました

### 復興畑で加工用トマトが収穫期

#### ● 契約栽培加工用トマト

釜石市下荒川地区の畑で8月11日、新たに手掛けている加工用トマトが収穫期を迎え、出荷が始まりました。

同地区では昨年度、一部で試験的に加工用トマトを栽培していましたが、今年度からは6人の農家が47aの畑で栽培し、見事に実りを迎えました。同トマトは日本デルモンテ株式会社との契約で専用品種の「LDM」を栽培するもので、同社野菜ジュースの原料として使用される予定です。

手掛けている一人、鈴木賢一さんは「栽培の手間はそれほどかからない。これから手掛ける農産物として期待できる。仲間を増やし継続し栽培していきたい」と語りました。



集荷場所にはどれも見事な出来栄の加工用トマトが見られました

届いた管理をしている事がわかった。甲乙つけがたい良い出来だった」と話し、高く評価しました。

8月8日には「花卉品評会」、8月26日には「アスパラガス圃場共励会」が開催され、9月20日には「ブドウ品評会」が行われます。

主な審査の結果は次の通りです。(アスパラガス圃場共励会の結果は10月に決まります。)

- 【キュウリ品評会】
- ▼最優秀賞・小松平久一郎▼優秀賞・藤原秀司▼優良賞・伊藤一夫
- 【ナス立毛共励会】
- ▼最優秀賞・小松清子▼優秀賞・高橋洋二
- ▼優良賞・高橋善勝
- 【花卉品評会】
- ▼最優秀賞・藤原セツ子(トルコギキョウ)
- ▼優秀賞・伊藤ハツ(小菊)▼優良賞・佐々木俊明(その他花卉)



1. 審判員らは1日かけてナス圃場を巡回し審査しました
2. 生産者の努力が見えた花卉品評会
3. 立派なキュウリがズラリと並んだキュウリ品評会